

■各サービスの比較■

契約形態ごとの特長と、主なご利用シーンについてご紹介します。

人材派遣

必要な時に、必要な期間、必要なスキルを持つ人材を活用することができるサービスです。
即戦力となる人材を、迅速に確保することができます。

例えばこんな時に…

- ✓ 社員の育児休業期間などの代替補充に
- ✓ 繁忙期の一時的な増員に
- ✓ 大量の業務処理への対応に
- ✓ 専門スキルが必要な職種での増員も

アウトソーシング（業務委託）

業務の運用そのものをお任せいただくサービスです。
弊社が必要な人員の採用や教育、業務の指示・管理などを行い、
責任を持って業務を遂行・完了させるため、管理工数を大幅に削減することができます。

例えばこんな時に…

- ✓ 定型業務の効率化に
- ✓ 外部のノウハウを活用したい業務の品質向上に
- ✓ 処理量の変動が大きい業務への対応に

人材紹介

企業の採用要件に合う人材を、弊社から企業へご紹介するサービスです。
自社募集では採用が難しいポジションも、効率よく精度の高い採用活動を行うことができます。

例えばこんな時に…

- ✓ 管理職などの役職者の採用に
- ✓ 特定の業界経験者の採用に
- ✓ 専門性が高い職種での採用に

紹介予定派遣

直接雇用の前に派遣による契約期間を設け、
派遣終了後に双方が合意すれば雇用契約を結ぶサービスです。
派遣期間中の見極めにより、採用におけるミスマッチを最小限に抑制することができます。

例えばこんな時に…

- ✓ 職場適性が求められる職種の採用に
- ✓ 実務遂行能力の見極めが必要な職種の採用に

契約形態を比較する

人材派遣とアウトソーシング（業務委託）

どちらのサービスも社外の人材を有効に活用していただくサービスです。
人材を確保するための採用活動や、給与支払や保険加入などの労務管理が不要になります。
また、必要な期間やボリュームに合わせた活用で、コストの削減にもつながります。

人材派遣のメリット・デメリット

人材派遣の メリット	必要なスキルを持つ人材を迅速に確保し、必要な期間だけ活用することができます。 直接、業務指示を行っていただくことができるため、業務委託と比較するとより柔軟に活用いただける他、機密性の高い業務での活用に適します。
人材派遣の デメリット	業務によってはご利用いただける期間に制限があります。 業務指示や管理を直接行っていただく必要があるため、業務委託と比較すると管理のための工数がかかります。

アウトソーシング（業務委託）のメリット・デメリット

アウトソーシングの メリット	業務運用の管理工数を大幅に削減することができます。 業務運用に弊社のノウハウを活用していただくことができます。
アウトソーシングの デメリット	直接、業務指示を行えないため、定型化できない業務や小ロットの業務には適さない場合があります。 業務設計やマニュアル作成などにより、導入開始までに準備期間が必要となる場合があります。

人材紹介と紹介予定派遣

どちらのサービスも直接の採用を支援するサービスです。
採用要件に合わせて絞り込まれた人材の中から選考することができるため、効率的で精度の高い採用を行うことができます。
紹介予定派遣は、派遣期間中に能力・適性が見極めが可能なため、採用におけるミスマッチを最小限に抑制することができます。
しかし求職者にとっては、派遣期間中に不採用のリスクを抱えることになるため、獲得競争の激しい職種やポジションの採用には不向きです。

階層別 適した採用手法

